

平成23年12月28日

読売新聞東京本社 経済部 御中

社団法人 日本冷凍食品協会
広報部長 三浦佳子

貴紙記事内容の根拠と訂正について

前略

貴紙12月26日付朝刊6面「家計の知恵」の記事に、以下の記載がありました。

「また、冷凍食品やコンビニ食、外食など高脂肪な食事が続くと、野菜やフルーツに含まれる必要な栄養素が不足、便秘や肌荒れの原因になる上、体の器官がスムーズに働かなくなって太りやすくなるそうだ」

ここでお尋ねしたいのは、冷凍食品が高脂肪な食事で太りやすくなるという科学的なデータがあるのでしょうか。何か根拠があつての一文でしょうか。

この記事は読者にあたかも「冷凍食品は高脂肪で太る」というイメージを定着させるものです。このような誤認に基づく記事によって、冷凍食品への誤解が増幅され、冷凍食品業界に多大な悪影響を及ぼしかねません。

科学的根拠に基づいた正確なデータがあれば、ご提示願います。

また、掲載意図のご説明をお願いするとともに、事実と相違があれば記事の訂正を求めます。

是非、ご回答いただけますようお願いいたします。

草々